

関係各位

**令和 8 年度 第 54 回鹿児島県スポーツ少年団
競技別交歓大会実施要項（バレーボール）**

- 【主催】 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会鹿児島県スポーツ少年団
- 【後援】 鹿児島県教育委員会 鹿児島市教育委員会 指宿市教育委員会 日置市教育委員会
いちき串木野市教育委員会 さつま町教育委員会 霧島市教育委員会
- 【主管】 鹿児島県バレーボール協会 鹿児島県小学生バレーボール連盟
- 【日程】 2026年9月6日（日）
- 【会場】 女子：ユピテルアリーナ霧島（牧園体育館）
男子・混合：指宿総合体育館
- 【参加資格】 (1) 選手は令和8年度スポーツ少年団に登録している団員とし、指導者は、令和8年度スポーツ少年団指導者（理念有）登録を完了した者に限る。
(2) 原則として、チームは単位団で編成し、市町村における選抜・補強は認めない。
(3) 参加は単位団から1チームとし、登録種目以外からの参加は認めない。
- 【規定及び方法】 (1) 本交歓大会は、競技別交歓大会実施要項〔総則〕に準ずる。
(2) 選手・指導者は、登録済みであること。
(3) 競技は、令和8年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を用いる。21点のラリーポイント制。コートの広さ・・・16m×8m ネットの高さ・・・2m
(4) 試合は3パートに分け、パートごとに優勝を決める。
(5) 使用球は軽量4号球（ミカサ人工皮革カラーボール）とする。
試合球は大会本部にて準備する
(6) 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず着用すること（左胸部）。
服装は、短パン・Tシャツ不可とする。
(7) 本大会の女子・男子パートは、全国スポーツ少年団交流大会の予選を兼ねる。
ア 優勝したチームは、全国大会に出場できる。優勝チームが都合により出場を辞退したときは準優勝チームが出場できる。
イ 指導者（監督）は、スポーツ少年団理念有指導者であること。
※全国大会出場チームは、公益財団法人日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ1～4又はスタートコーチ（バレーボール）いずれかの資格を保有する者、又は日本小学生バレーボール連盟主催の指導者講習会（一次、二次講習会いずれかの受講修了者）、又はJVAベーシックライセンスなど日本小学生バレーボール連盟認定指導者であること（確約書有）。
- 【参加料】 3,000円（大会当日受付で納める）※お釣りのないようご協力ください。
- 【チーム編成】 (1) チームは監督1名、コーチ1名までマネージャー1名、選手12名以内とする
(2) 監督・コーチは成人であること

【開場・設営・入館・受付・監督、育成会代表者会議】

- (1) 開場：会場の開館時間は8：00とする。（設営・準備のため）
- (2) 設営：会場のコート設営は、県小連役員と各チーム関係者（2名以下）にて行う。
但し、競技委員長が認めた者はこの限りではない。

コート設営に協力できるチーム関係者は、原則、JVA公認審判資格者又は県小連審判資格者及び設営ができる指導者とする。

※ 設営に係わらない方の入場は認めない。

※ 設営に係わるチーム関係者は、7：50までに会場の玄関前に集合する。

※ 事前打ち合わせの実施

コート設営に取りかかる前に、コート設営の確認を競技員とチーム関係者で事前打ち合わせを行う。事前打ち合わせの場所は、体育館の中とする。

- (3) 受付：チームは、大会本部にて指示された場所で受付を済ませる。
受付時に構成メンバー表の提出、スタッフ変更届の提出、領収書を受け取る。
- (4) 監督・育成会代表者会議：コート設営終了後、監督と育成会代表者（1名）会議を本部付近で行う。
※監督会議には必ず当日の監督が出席すること。
- (5) 入館：選手の入場は、コート設営完了後、係の指示により入館とする。

【開会式・閉会式、表彰】

- (1) 開会式・・・実施しない。
- (2) 閉会式・・・実施しない。
- (3) 表彰・・・カテゴリー毎に優勝、準優勝、3位までをコート表彰する。

【試合・スコアの集計】

- (1) 試合順は組み合わせによる。
- (2) 公式練習、ウォームアップ：すべての試合で公式練習を行う
チームの最初の公式練習前に15分間の練習（ウォームアップ）時間を設ける。その後プロトコルとする。
公式練習以外の練習は、隣接するコートの試合に影響するような練習をしないこと。
- (3) 試合間：試合間は5分間とする（前試合の記録用紙が本部返却後）。連続試合の場合は10分間とする。2試合目以降の試合間はスコアシートが本部へ返却されてから5分間、連続試合の場合は10分間とする。但し、最大でも試合間は、前試合終了後15分間とする。
- (4) 試合開始、終了時の握手・挨拶：試合開始、終了時は、コート中央にて相手チームと握手をする。
- (5) スコアの集計：試合終了後、両チームのキャプテンからサインをもらった後、本部付近に設置した集計エリアで行う。（当該レフリーも立ち会う）
- (6) STO（セーフティ タイム アウト）の採用
今大会は熱中症対策としてSTOを採用する。
1セット目と2セット目はどちらかのチームが11点目を先に取った時点
3セット目はどちらかのチームが8点目を先に取った時点。
- (7) ワイピング
競技エリアが汗でぬれた場合、原則、コート内の選手によるワイピングで対応すること。
柄付モップを入れるかどうかの判断は、ファーストレフェリー、セカンドレフェリーの判断とする。
但し、タイムアウトとセット間の柄付モップ使用は可能とする。

【ベンチ・ベンチスタッフ】

- (1) 成人のベンチスタッフは、日常子どもたちの健全育成を目指して指導にあたっている都道府県大会実行委員会が認めた者であること。暴力、暴言、セクシャルハラスメント等指導者として不適切な行為を行っているものは出場を認めない。また大会期間中にそのような行為が発覚した場合は、程度に応じた罰則を適応する。
- (2) ベンチ脇に大型のキャンプカートを持ち込まないこと。
- (3) ベンチでのペットボトルの使用は認めない（但し、ケースに入れた物は認める）
- (4) ベンチの椅子は9脚とする。
- (5) ベンチスタッフの服装は統一し、短パン類の着用はしないこと。
- (6) 試合中の“うちわ”の使用やタオル等の首、肩かけは禁止。（県小連服装規定の遵守）
- (7) ベンチスタッフは、規程の胸章（監・C・M）を提示すること。
- (8) ベンチスタッフの変更は、大会初日の監督会議前に“スタッフ変更届け出”を提出すること。

【審判団及び補助員】

- (1) チームは審判（レフェリー）を帯同させること。
- (2) 組み合わせ表を確認し遅延することなく準備すること。
また、相互審判の場合、スコアラー、ラインジャッジ及び補助員の配置は各チームの指導者同士で協議し役割を決めること。
- (3) チームは、スコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名の審判団、補助員を出すこと。
- (4) 審判（補助員含む）をするチームは、ラインジャッジのフラッグ、スコアースートの筆記用具をチームで準備すること。

【ユニフォーム】

- (1) 全日本小学生バレーボール連盟又は鹿児島県バレーボール協会ホームページに掲載されている“ユニフォーム規程”を確認すること。
混合チームは男女で違うユニフォームを着用すること。但し、用意できない場合は、識別用バンドなど、男女を一目で判別できる対応を行うこと。（ズボンのみ変更やハチマキでの区別は認めない。）

【応援】

- (1) 応援者と応援方法
鳴り物（太鼓、大きなメガホンなど大音量を発する物）は使用禁止とする。
※応援グッズとして竹は認める。ペットボトルにビーズ等を入れたものやメガホンをつぶしたものの使用は認めない。
- (2) チームの応援幕について
応援幕は自チームが試合の時だけ取り付けること。手すりがある場合は、手すりの下にひもを結ぶこと。

【昼食時間、その他】

- (1) 昼食時間：試合進行の状況をみながら、昼食時間を30分程度設ける。
- (2) チームは熱中症対策をおこなうこと。
- (3) **肖像権遵守の観点からSNSなど個人情報を勝手に掲載しないこと。**
- (4) 鹿児島県バレーボール協会ホームページ記載の大会要項を必ず確認すること。
- (5) **大会において協議が必要となる事案は大会役員、大会会長が判断し対応する。**
（大会要項に反する行為なども含む）
- (6) 弁当を業者に頼まれた場合は、受け取り及び弁当空の対応はチームで責任をもって行うこと。
- (7) **忘れ物がないようにチームで責任をもって備品管理をすること。**

【体育館施設の利用上のお願い】

- (1) 各体育館で決められた使用上の注意事項を遵守する。
- (2) 熱中症対策として必要に応じて空調（冷房）設備を使用する。
- (3) 喫煙は定められた場所で行うこと。
- (4) 履物は体育館の玄関（靴箱）に置かない。シューズケース等に入れてチームで管理すること。
- (5) 施設内のコンセントの利用や施設内及び施設周囲でコンロなどは使用しないこと。
- (6) トイレ内に残飯を捨てたりトイレが詰まるような行為は行わないこと。
- (7) 器具、備品類の破損はチーム負担で実費弁償とする。

【コート設営についての注意事項】

- (1) 支柱に“巻き取り”が付いている方をファーストレフェリー側（主審）に立てる。
（支柱の高さは、支柱のメモリで2.0mより少し高め（1.5cm程度）でセットする）
但し、会場により異なる場合がある。
- (2) アンテナ、サイドバンド、支柱カバーの取り付けは、ネットの高さ（中央、両サイド）が規定値であることを確認してから行う。
- (3) サーブ打ち出し位置（6.5mライン）は、ラインテープ又はつい盾などで対応する。
- (4) レフェリースタンド側支柱に警告カードを取り付ける。
- (5) ベンチ後方にアップゾーンを設置する。（ラインテープ又はつい盾）
- (6) 点示板の配置は4番ラインジャッジの斜め後ろ付近とする。
- (7) ベンチの椅子は隣接するコートとコートの間に並べる。
ベンチの椅子はアタックラインの位置から1脚分空けてエンドライン側に9脚並べる。
ベンチ用の椅子の下には床材保護用のシートを敷く。
- (8) 本部付近に記録集計用机（1台）を準備する。
※コート設営は、チーム内の審判有資格が中心となって行っておこなうこと。
コート設営は自チームが試合を行うコートを優先する
- (9) 試合進行上で先に終了したコート（B、Cコートなど）の撤収は、当該チームを中心に行う。

【タイムスケジュール】

※スケジュールの時間は目安とする

準備状況等により時間は多少変更する場合がある。

その場合は連絡を行う

入館については勝手に入館しない。係員の指示に従うこと。

9月6日（日曜日）

試合会場 男子・混合 : 指宿総合体育館

女子 : ユピテルアリーナ霧島体育館（牧園アリーナ）

7:50 大会役員、チーム関係者（設営協力者）集合

8:00 コート設営開始（大会役員と午前試合予定の各チーム関係者2名まで）

8:20 受付（本部にて 構成メンバー表の提出、スタッフ変更届の提出、領収書の受けとり等）

8:30 **監督・育成会代表者会議**（資料は事前に県協会ホームページ掲載の“運営について”を各自持参）
当日の監督と育成会代表者（1名）で会議をおこなう。

8:30 入館 選手、チーム関係者、応援者（1試合目のチームを優先する）
選手、チーム関係者は、本部より指示があるまで、競技エリア（コート及び周辺）に入らない。原則2階または、通路周辺で待機とする。

8:59 1試合目のチームがコート練習開始（15分間）

9:14 1試合目 プロトコル（各コート同時開始）

9:25 1試合目 試合開始

※ チームの初戦（1試合目）の前に、15分間の練習（ウォームアップ）時間を設ける。
その後、プロトコルとする。

※ 2試合目以降の試合間はスコアシートが本部へ返却されてから5分間とする。
連続試合の場合は10分間とする。
最大でも試合間は、前試合終了後15分間とする。

※受付時、構成メンバー表の提出及びスタッフ変更届け出、領収書の受領を行う

※ 昼食時間は進行状況を見ながら設ける。

※ 最終試合後、コートの撤収及びフロア清掃を行う。